

柏崎刈羽原子力発電所 放射性気体廃棄物の放出量  
(平成20年度第3四半期)

(単位: Bq)

		全希ガス	<sup>131</sup> I	全粒子状物質	<sup>3</sup> H	備 考
原子炉施設合計		ND	ND	ND	4.5×10 <sup>11</sup> (4.9×10 <sup>11</sup> )	放射性気体廃棄物の放出放射能 (Bq) は、排気中の放射性物質の濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) に排気量 (cm <sup>3</sup> ) を乗じて求めている。 なお、放出放射能濃度が検出下限値未満の場合は ND と表示した。 検出下限値は以下の通り。  全希ガス: 2×10 <sup>-2</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> ) 以下 <sup>131</sup> I: 7×10 <sup>-9</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> ) 以下 全粒子状物質: 4×10 <sup>-9</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> ) 以下 ( <sup>60</sup> Co で代表した) <sup>3</sup> H: 4×10 <sup>-5</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> ) 以下
排気筒 別内訳	1号機排気筒	ND	ND	ND	3.2×10 <sup>10</sup>	
	2号機排気筒	ND	ND	ND	8.5×10 <sup>10</sup>	
	3号機排気筒	ND	ND	ND	4.5×10 <sup>10</sup> ※2	
	4号機排気筒	ND	ND	ND	8.7×10 <sup>10</sup>	
	5号機排気筒	ND	ND	ND	7.9×10 <sup>10</sup>	
	6号機排気筒	ND	ND	ND	4.6×10 <sup>10</sup>	
	7号機排気筒	ND	ND	ND	7.2×10 <sup>10</sup> (1.2×10 <sup>11</sup> )	
	その他 排気筒	焼却炉建屋 排気筒 (荒浜側)	異常なし※1	ND	ND	
	焼却炉建屋 排気筒 (大湊側)	異常なし※1	ND	ND	1.3×10 <sup>9</sup>	
年間放出管理目標値		6.7×10 <sup>15</sup>	2.3×10 <sup>11</sup>	—————	—————	

※1: 通常レベルから変動していないことを確認して「異常なし」としている。

※2: 平成20年10月14日、3号機主排気筒放射線モニタサンプリング配管について保温材取外し後の点検を実施していたところ、当該配管の吸込側配管に損傷が1箇所確認された。配管の損傷により、サンプリング流量の一部に外気が混入した可能性が考えられるが、現場を再現した状態では、外気の混入量は最大でも2%であり、放射能濃度測定評価には問題のない程度であることを確認したため、測定値をそのまま記載している。なお、当該配管の損傷については、平成20年10月20日に復旧している。

注 ( )内の数値は、7号機主排気筒放射線モニタサンプリング配管接続部の不具合が見つかったため、測定系への外気の流入量から補正した値である。